

霊峰白山山行報告

【山行日】2020年8月1日(土)～2(日)

【集合】岩舟支所P AM 3:50

【費用】マイカー1台：18000円

【メンバー】CL:大西 SL鈴木 安西 福島 藤原 松館 吉田 渡辺

【コースタイム】1日:岩舟支所 P3:45 = 佐久平PA5:15/5:20 = 有磯海SA7:20/7:25 = 市ノ瀬野営場P9:30/9:55 ≡ 別当出合10:10/10:20 → 中飯場11:00/11:10 → 甚之助避難小屋12:50/13:20 → 南竜分岐13:50 → 水場14:25/14:35 → 延命水14:45/14:55 → 黒ボコ岩15:00/15:10 → 弥陀ヶ原15:30/15:40 → 白山室堂ビジターセンター16:00

1(土) 晴れ 白山ICで高速を下り市ノ瀬野営場Pへ。シャトルバスに乗り登山口のある別当出合へ。砂防新道を登り中飯場・甚之助避難小屋・黒ボコ岩を経て白山室堂ビジターセンターへ到着。

予報では1日に東海・北陸地方が梅雨明け。天気は心配なかった。皆さん集合時刻3:50より早く集合し3:45には出発できた。佐久平PA、有磯海SAでトイレ休憩を取り、順調に進んだ。途中、上信越道の新潟県部分で車線規制があり市ノ瀬野営場には30分



遅れの9:30到着になった。道路脇にも駐車していたが、奥へ案内され広い場所に駐車できた。皆さんテキパキと準備し吊り橋を渡りバス発着所のある市ノ瀬ビジターセンターへ急いだ。体温測定後シャトルバスに乗った。集まり次第だそうで満席になると出発した。

15分程で別当出合に到着。トイレ、ストレッチを済ませ石碑の前で写真撮影。鳥居をくぐり砂防新道へ。立派な吊り橋を渡ると大きなユリに驚いた。Wさんがウバユリと教えてくれた。出発は10:20、太陽も高く日差しがきつく感じられた。5時間車に揺られた後だが、

頑張って急登を登って行く。天然の石畳のようで、整備された登山道だと分かった。早朝に登った人や昨夜宿泊した人が下山してくる。狭い登山道、登り優先で待っていてくれる。

砂防工事現場が見えてくると間もなく中飯場に着いた。大きなトイレ棟がある。遅れを取り戻したとのこと。水が豊富だと聞き、トイレの後顔を洗ってみた。気持ちいい。みかんとチーズを頂き、元気が出た。ここから昼食場所の甚之助避難小屋までは1時間30分だ。歩き始めると上の方に不動滝が見えた。暑い頑張って登って行った。10分程たった頃、F原さんに貧血が起きた。足場を間違い藪へ倒れた。男性陣が頼もしく引き上げた。5分位過ぎると、今度はMさんに足攣りが起きた。Sサブリーダーが付き添い、遅れて登ることになった。

避難小屋へは傾斜が更にきつくなる。木道が出てくるとほっとした。12時近くになり太陽は真上から照り付ける。整備された登山道ではあるが、左右に木々が生い茂り風通しがいいとは言えない。昨日の朝佐野では雨が降っていて寒い位だったのに、と思いつながり登って行った。別当覗にはたくさんの人が休んでいた。別当出合が見えるのだろうか、ここは通り過ぎた。振り返れば見晴らしがいろいろだが我慢した。最上の景色は目的地に着いてから、と思った。石畳の階段を登りながら、これだけ整備するには大変な労力と時間がかかったのだろう、と感心しながら登った。



登山道左右の木々の高さが高くなった。お腹が空いたと思い始めたら、頃甚之助避難小屋に着いた。たくさん人がいた。テーブル・ベンチもいっぱいだった。分かれて席を取りトイレへ。少し待つと1つテーブルが空き一緒に座れた。昼食はそれぞれで。自分は食べやすいミニカップ麺味噌味。ここでも水が豊富で食事後、十分に味わった。

登り始めてWさんの体調がちょっと悪くなった。午後1時半頃、更に暑くなる時間帯だ。少し休むと戻った。20分位登ると右前になだらかなトラバース道が見えた。人がたくさん歩いている。あそこを登るのだと思っていたら左の急登へ。そこが南竜分岐だった。

頑張って登っていたがWさんに足攣りが起きた。Oリーダーが付き添い休む。4人で少し進み1番目の水の所で待った。水場というか沢というか滝。涼しい。後で調べたら別当出合源流部。石の上に腰を下ろし景色を眺めた。遠くに別山、目の前にはイブキトラノオ。ゆっくり休憩していると、Wさん・Oリーダーが登って来た。6人で進む。2番目の沢、3番目の沢と進み、爽やかさを味わった。

10分位歩いた頃、Oリーダーに足攣りが起きた。目の前の延命水まで進み休憩。皆さんで延命水を味わった。F原さんは下痢をするので遠慮。Wさんはこれで寿命が延びたと喜んでいて。後で調べたら一口で3年長生きするそうだ。Oリーダーも回復して6人で黒ボコ岩を目指す。家族連れの子が「黒ボコ岩まで15m。」と言っていたが、なかなか着かない。ジグザグに登りながら「15分の間違いか？」と思い始めたら着いた。

黒ボコ岩でマスカットを食べ休憩。黒ボコ岩の上に登

っている人がいて興味が湧いたが、室堂に着くまでは体力を温存しようと思った。黒ボコ岩で観光新道と合流になるためか、人が更に多くなった気がした。

弥陀ヶ原へ登り上げると目指す白山の雄大な姿が現れた。「おお、これぞ白山！素晴らしい。来てよかった。」と感動。足元も木道になり歩き易い。日差しが強く疲れてはいるが頑張って歩く。弥陀ヶ原の景色を楽しみ、ぐるりと見渡す。登ってきた方向を見ていると見慣れた黄緑色のウェアの人物が歩いてくる。Sサブリーダーだ！Mさんは今夜甚之助避難小屋に宿泊とのこと。Sサブリーダーは明朝のお池めぐりのことを考え登ってきてくれたそうだ。OリーダーがY田さんたち先発隊に先に受付をしてくれるように指示をした。

木道の後に最後の急登があった。五葉坂だ。整備された岩の道。左右にハイマツ。ゆっくり登る。石とハイマツの景色を楽しみながら進む。とはいえ、午後3時半過ぎ、疲れはピークに。右前方に見えていた岩の並びがハイマツで見えなくなり少し進むと白山堂ビジターセンターが現れた。「おお、来たぞ！」先発隊が見える。足元にはハクサンフウロが…。センター前のテントで検温。スタッフさんから「宿泊可」のタグを貰う。マスクに付けておくとのこと。中に入り氏名・住所等を記入。一旦外で休憩。白山室堂の空気を味わう。

全員の受付が済み中を通り裏へ出る。立派な奥宮祈禱殿があった。鳥居もある。感心しながら宿泊棟へ。御前荘6号室。靴箱に名前を書いて表示。靴箱も多い。この棟で200人の宿泊が可能のようだ。部屋は1番奥の6号室。左右上下に5人ずつ、20人部屋かな、と思った。上段に上がり畳4枚分を1人で使用できることになった。快適。

5時頃から外テーブルで恒例の宴会。生ビールの泡のクリーミーなこと。風も出てきて涼しい。御前峰(ごぜんがみね)を見ながらの宴会は最高だった。5:40にセンター内食堂へ。③の椅子を使うように指示





され、ご飯2パック、レトルトカレー、福神付け、オレンジゼリー、緑茶パックの夕食を頂く。早い時間なので後でお腹が空いて寝られなくなると困る。ご飯2パックを食べ切った。

夕食後A西さんと散歩に出た。第1展望台へ行き夕日を眺め、第2展望台へ。弥陀ヶ原から見えた岩の並びはこれだと分かった。A西さんは別山が見えると喜び、夕日が沈むまでここにいると言う。御前荘に戻りながら見上げると御前峰と奥宮の屋根が「おいで、おいで。」と言っているように思えた。明朝の楽しみと思い部屋に戻った。

部屋では皆さん寝ていた。そっと梯子を登り7時に

は横になった。その後、A西さんも戻った7時半には寝付いたように思った。

2日：白山室堂4:00 → 御前峰4:40/5:10 → 紺屋ヶ池・油ヶ池 → 翠ヶ池5:50/6:00 → 血ノ池・五色池・百姓池 → 白山室堂6:50/8:00 → 甚之助避難小屋9:30/9:40 → 中飯場11:30 → 別当出合11:15/11:35 ≒ 市ノ瀬野営場P11:50/12:10 = 白峰温泉総湯12:20/13:50 = 名立谷浜SA 16:25/16:40 = 横川SA18:20/18:50 = 岩舟支所P19:45

2(日) 晴れ 御前峰で神職のお話とご来光を楽しみ、お池めぐりへ。ビジターセンターで朝食を食べ、往路を下山。白峰温泉で汗を流し昼食、横川SAで夕食を取り岩舟支所へ。

1:30頃目が覚めたが、ビジターセンターの前のトイレの方が綺麗なため、そちらに行こうと思って待っていた。3:30にリーダーが「起きて。」と声を掛けたので、梯子を下りヘッドランプを持って、綺麗なトイレに向かった。ビジターセンターの中には、登ってきて夜明けを待っている登山客がたくさんいた。トイレを済ませビジターセンターに入ろうとすると近付いてきた人物が…。Mさんだった！会えてよかったと思い、静かに中を通り御前荘に案内する。皆さん再会を喜び「8人揃って山頂に登れることになってよかった。」と活気付いた。レインウェアを着て身支度を整えた。

外に出ると御前峰へ向かうヘッドライトの光が点々と…。太鼓が鳴った。御来光を迎える神式を行う場合には、日の出1時間前に打ち鳴らされることになっているそうだ。御前4時出発。奥宮への道も石畳になっていて歩き易い。ジグザグと登り40分で御前峰近くへ。到着直前、下駄の人に追い抜かれた。水色の袴で神職さんと分かった。上にはしっかりした上着を着ている。



場所を決めてご来光を待つ。神職さんは奥宮の社で上着を脱いで身支度を整え、一番高い岩の上へ立った。風もある。けっこう寒い。お話が始まり、今日が今シーズン初めてのご来光式典と知った。期待が高まった。今日は4時50分、水晶岳方向からの御来光とのこと。緊張しながら楽しみに待つ。奥宮の気温は6度、御前峰の体感温度は1度低いとのこと。白馬、五竜、鹿島槍、槍、穂高、乗鞍、御岳が見えると説明される。他にもお話があったが覚えていない。いよいよその時が…。少しずつ見えてきた。感動！全員で万歳三唱をする。

5時10分にはお池めぐりへ下り始めた。右下に紺屋ヶ池、左下に油ヶ池らしい。40分程歩き一番大きい翠ヶ池の上で休憩。ドラ焼きを頂く。本当に翠色だ。再び歩き出し、今度は池も小さく説明板もあるので血ノ池、五色池、百姓池と分かった。トラバースして緩やかな斜面に行く。登りがないと分かったら花に意識が向いた。ハクサンコザクラ、クロユリの見事な群落を味わう。クルマユリ、ニッコウキスゲ、シモツケソウ、ミヤマキンポウゲ、オンタデ、..。

6時50分に白山室堂に着きトイレに行く。時間があるとのことで外テーブルでお茶会に。ザックの整理を手短に済ませ参加。マイカップを持ってきてよかった。7時20分に朝食を頂く。今度は①の椅子。4人掛けのテーブルに1人ずつ。やはり全員同じ方向を向いて食べる。ご飯1パック、レトルトの鰯の煮付け、味付き納豆、漬物、ワッフル、緑茶パック。直前にお茶を飲んだので緑茶パックはそっと持ち帰ろうとし、ふと見ると、「完食か持ち帰り」の表示が。よかった。ごみも持ち帰りとのこと。山のためにはよいことだと思う。

8時にお世話になった白山室堂ビジターセンターを出発。改めてハクサンフウロの大きいことに感動。イワギキョウ、ヤマハハコにも余裕で目が行く。五葉坂からの景色は素晴らしかった。エコーラインへの木道もよく見えた。弥陀ヶ原では石柱に「霊峰白山登拝道」の文字を見つけた。そういえば神職さんが「白山に登ることは登山と言わず、登拝と言います。」と説明していた。ヨツバシオガマ、シナノキンバイなどを楽しんだ。登ってくる人に道を譲りながら慎重に下った。

黒ボコ岩はやはり混んでいた。岩の上に乗っている人を見ながら通り過ぎた。延命水、別当出合源流部を過ぎ、順調に下る。Wさんは攀らないようにゆっくりと。Wさんのペースで落ち着いて下った。ミヤマダイヤモンドソウ、センジュガンピが綺麗だった。景色も楽しめた。南竜分岐も人が多かった。南竜山荘方面へ行く人、別当出合から登ってくる人で混雑。登ってくる人を待って下る。木々の茂みの中を順調に下る。木の茂みの中は少し日陰になってほっとする。



甚之助避難小屋が近付くとベンチにたくさんの方が休憩していた。9時30分。登ってくる人のピークらしい。避難小屋前の空いている席を見付けて座る。水を味わう。少し遅れているらしく、早々に出発。別当視も通り過ぎた。人を避けながら下るようと思った。中飯場に来ると登山者が少なくなった気がした。遅れているようで、立ち休みとなった。下りながらこれを登って来たのだと感心する。登り専用分岐になり、下り専用道へ。初めての道はけっこう長く感じる。昨日渡った吊り橋が見えてきたがなかなか着

かない。元の登山道に戻りひたすら歩き、ウバユリを見て吊り橋へ。

別当出合で直ぐシャトルバスに乗り込む。座席を確保したら時間があるそうなのでトイレへ行く。戻ると間もなく満席になり、予定より5分早く出発してくれた。市ノ瀬野営場では、車までの歩きが長く感じられた。靴を履き替え12時10分出発。

白峰温泉総湯で汗を流し、「彩さい」で昼食を食べた。皆さんテキパキと行動したので1時50分には出発できた。名立谷浜SAでトイレ休憩、横川SAで夕食を取った。一部の車線規制はあったものの往路より早いペースで午後7時45分には岩舟支所に無事帰着した。

後日別の山行でWさん、A西さん、F原さんに会った。皆さん口々に「登れてよかった。ご来光が感動的だった。花が綺麗だった。素晴らしい山行だった。」と言っていた。自分もそう思っていたので、連れて行ってくださった、Oリーダー、Sサブリーダーに大変感謝している。また、大きな山に連れて行って頂けたら、と思う。
(福島 記)